

名護東道路延伸（本部方面）の計画について

沖縄総合事務局 北部国道事務所

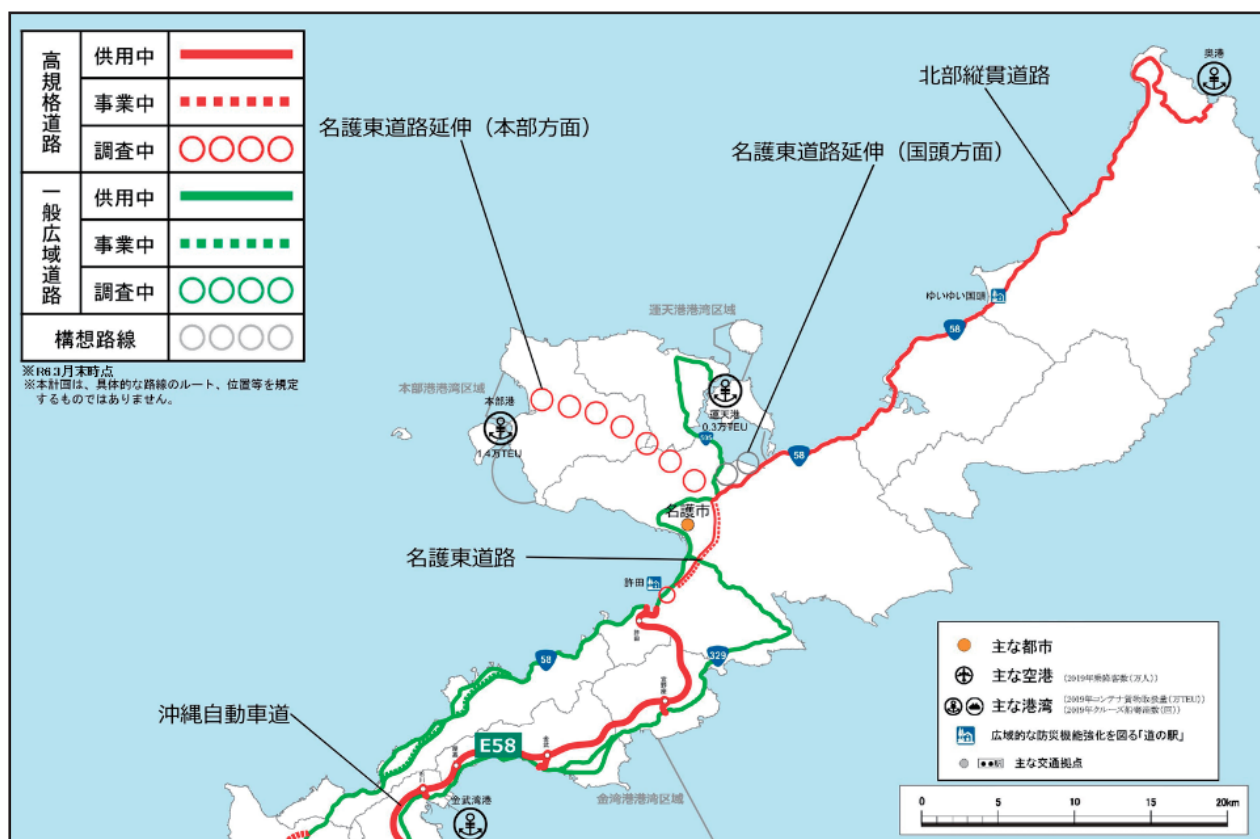
はじめに

現在、沖縄総合事務局では名護東道路延伸（本部方面）の計画検討を行っております。

この道路の計画については、令和3年3月の沖縄ブロック新広域道路交通計画に位置づけられており、令和6年度から概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）に着手しました。

令和6年4月24日に社会資本整備審議会道路分科会沖縄地方小委員会（以下、「地方小委員会」という）（第1回）を開催し、道路計画の検討にあたり、計画づくりの初期段階から地域住民、観光客、道路利用者などの皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していく取組として、アンケート調査（令和6年4月28日～7月12日）などを実施しました。

本稿では、計画段階評価手続き中の「名護東道路延伸（本部方面）」の道路計画について、地方小委員会（第1回）で議論された地域の現状や道路に関する課題とその要因、政策目標案や今後の進め方などについて紹介します。



沖縄ブロック広域道路ネットワーク計画図（案）（※一部加工）

地域の現状について

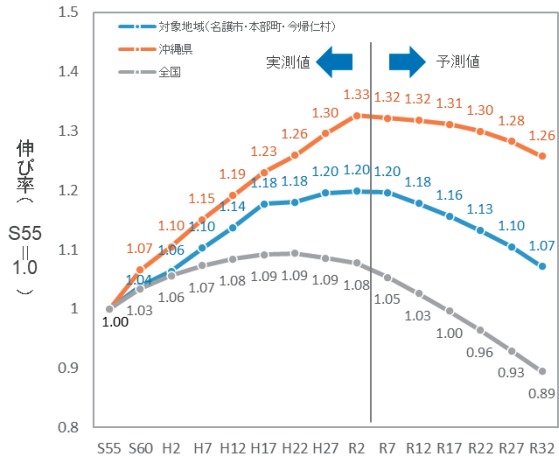
① 人口動態

名護東道路延伸（本部方面）の対象地域である名護市、本部町、今帰仁村の人口は、これまで順調に増加しており、将来減少する予測ではあるものの、全国に比べ緩やかとなっています。

▼対象地域の人口



▼対象地域の人口の推移と伸び率



資料：【実測値】国勢調査(S55～R2)

【予測値】日本の地域別将来人口(R5年推計) 国立社会保障・人口問題研究所

(R7～R32)

② 農産業の状況

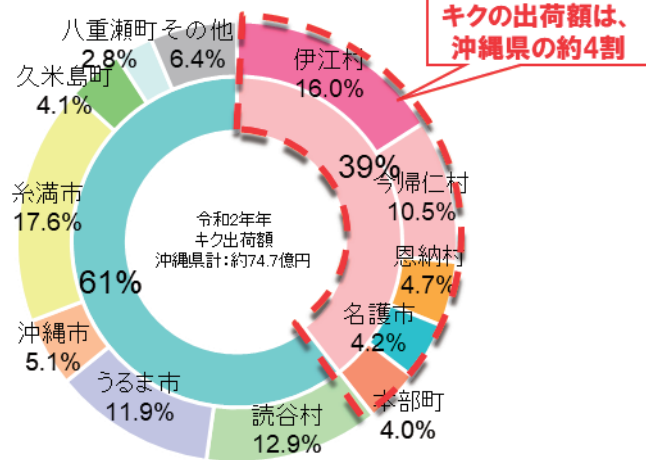
温暖な沖縄県においては、花卉類や果物の栽培も盛んに行われており、北部地域においても主要な産業となっています。特に「キク」の出荷量では、沖縄県は全国2位となっていますが、そのなかでも北部地域は県内の主要な産地となっています。

▼ 全国のカキ出荷量とシェア率(R4)

都道府県	出荷量	シェア
愛知	437,700	35.7%
沖縄	216,500	17.6%
福岡	68,300	5.6%
鹿児島	58,400	4.8%
長崎	47,200	3.8%
その他	398,900	32.5%
全 国	1,227,000	100.0%

資料：令和4年産都道府県別の作付（収穫）面積及び出荷量

▼ 市町村別カキの出荷額(R2)



北部地域の
カキの出荷額は、
沖縄県の約4割

資料：沖縄県園芸・流通(令和5年1月)

③ 観光産業の状況

当該地域には、県内最大の観光拠点である「沖縄美ら海水族館」に加え、世界遺産の今帰仁城跡、古宇利島等の観光拠点が点在しています。

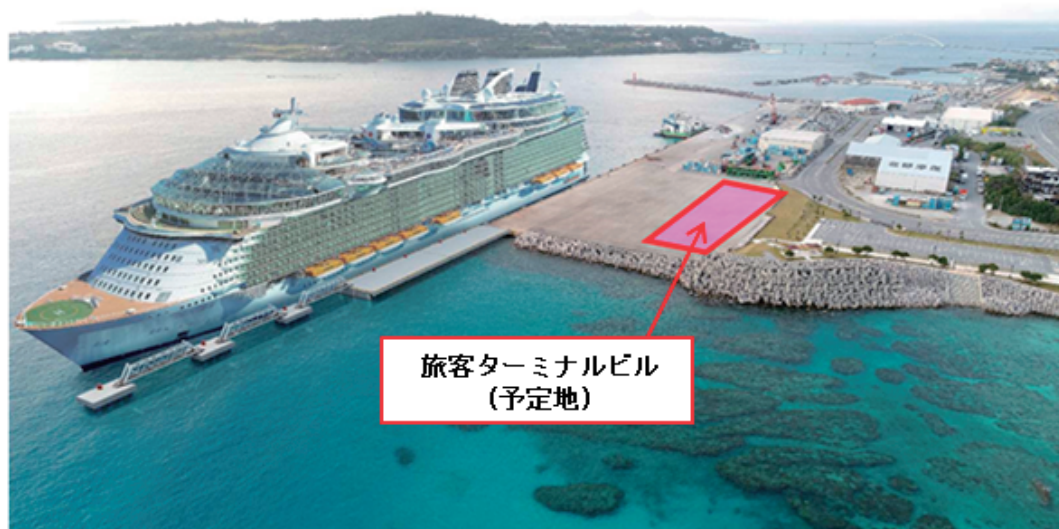
また、本部港は国際クルーズ拠点に選定され、令和4年度には、22万トン級大型クルーズ船の受入れが可能な岸壁が整備され、運用を開始しています。

加えて、2025 年夏には日本最大規模の新たなテーマパーク（ジャングリア）の開業も予定されています。



▲テーマパーク位置図
(北部地域における主要観光施設)

22万トン級クルーズ寄港イメージ



道路に関する課題について

④ 空港や観光地間のアクセス道路不足

当該地域には、多くの観光施設が点在していますが、本部半島内の道路網が脆弱なため、観光施設間の移動が不便となっています。あわせて那覇空港や那覇港など物流拠点や交通拠点へのアクセスも時間を要しています。



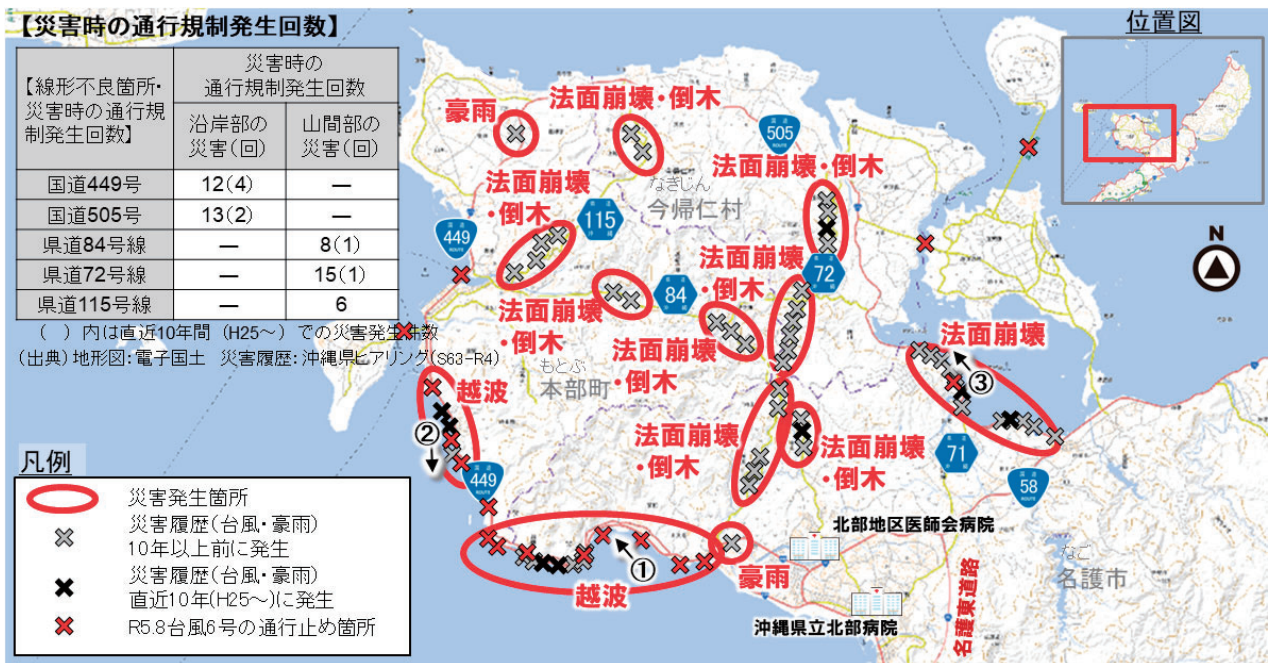
資料：名護市観光協会ヒアリング (R1.10) より



資料：物流業者ヒアリング (R2.1) より

⑤ 道路の脆弱性について

本部半島では、台風等の災害により、通行止めなどが発生しており、緊急時の救急搬送にも懸念がある状況です。特に、令和5年8月の台風6号では越波や法面崩壊により、多くの通行止め箇所が発生しました。



① 【R5.8被災状況(国道449号)】



② 【R5.8被災状況(国道449号)】



③ 【R5.8被災状況(国道505号)】



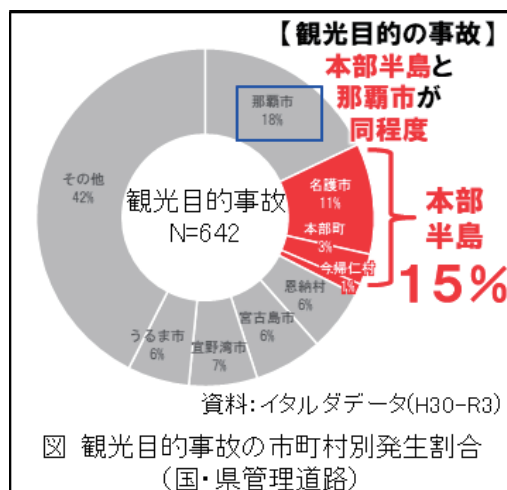
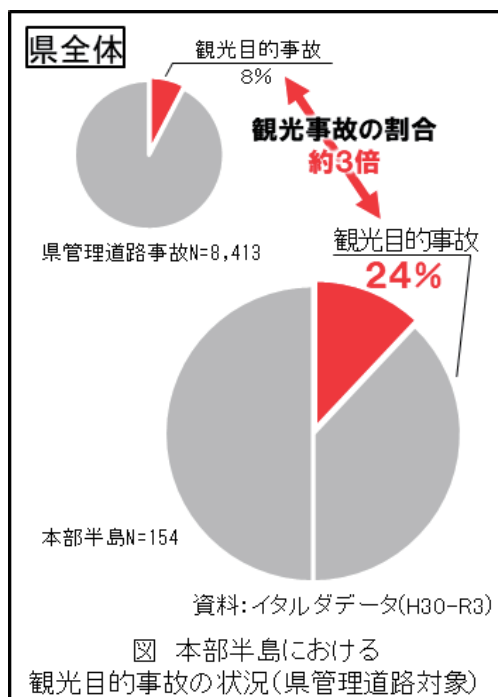
⑥ 観光交通による交通事故

当該地域では、観光目的とした交通の事故の割合が全体の24%（県平均の3倍）を占め、事故件数では、那覇市と同程度になっており、地域に不慣れなレンタカーによる交通事故も多発している状況です。



(出典) 地形図：電子国土 交通事故：ITARDA データ（H30-R3）

事故発生位置図



政策目標の案（地域・道路交通の課題とその要因）について

地方小委員会（第1回）では、これまで述べたような地域の現状、道路に関する課題、上位計画等に表示された地域の目指す将来像との整合等にも留意し、政策目標の案などを議論しました。

分類	課題	要因	政策目標	
地域について	観光産業	○那覇空港から観光地へのアクセス向上 ・県外からの観光客の玄関口である那覇空港から北部観光地（海洋博記念公園・テーマパーク（予定地））までの一層のアクセス向上が求められる。 ○北部地域の観光地間の連携強化 ・本部港を拠点とした北部地域の主要観光地間の周遊性の向上が求められる。	○那覇空港、観光地間のアクセス道路の不足 ・名護市⇔本部町・今帰仁村、北部地域⇔那覇空港を結ぶ遠達性の高いアクセス道路の不足	[観光地アクセス・周遊性の向上] 那覇空港から主要観光エリア、主要観光エリア周辺の高速道路を使った利用圏域・滞在時間の確保  
	産業・物流	○那覇市～北部地域間の連携強化 ・那覇市～北部地域間の連携強化による農産物、生活物資等の輸送の効率化が求められる。	○生産拠点と物流拠点のアクセス道路の不足 ・北部地域⇔那覇空港、北部地域⇔本部港を連絡するアクセス道路の不足	[物流の効率化] 生産地や農業出荷場（JA等）から高速道路までの効率的な物流に寄与するアクセス道路の確保 
	安心・安全	○救急搬送、離島振興への寄与 ・救命率向上のため、第三次医療施設となる公立沖縄北部医療センターへの救急搬送時間の短縮。 ・安定した離島への物資運搬による離島振興への寄与	○地域の道路の脆弱性 ・名護市⇔本部町・今帰仁村を連絡する、国道449号、国道505号、県道84号では災害による通行規制、孤立等が発生、救急搬送等にも影響が懸念される ・災害に強い道路が不足	[災害時も通行できる道路の確保] 本部半島と高速道路網を結ぶ災害時にも安心・安全な道路の確保 
道路について	災害・通行規制	○災害に強い道路の確保 ・台風、地震時の通行規制等に対応した災害に強い道路の確保が求められる。		
	交通渋滞・交通事故	○北部地域の道路交通の円滑性・安全性の確保 ・観光シーズンを中心に市街地に集中する交通の分散による交通の円滑化・安全性の確保が求められる。	○交通渋滞や交通事故の発生 ・一般交通、物流交通に加え、観光交通も混在し、交通渋滞や交通事故が多発	[道路交通環境の改善] 交通容量の確保による渋滞緩和、事故削減  

終わりに

名護東道路延伸（本部方面）の計画段階評価手続きにおいては、令和6年4月24日に地方小委員会（第1回）を開催し、地域の現状、道路に関する課題、政策目標の案、道路計画の必要性などについて、地域住民などの皆様へ広くご意見を伺っているところです。

今後は、意見聴取（第1回）結果のとりまとめを行い、地域・道路交通の課題、政策目標の明確化、道路計画の必要性の確認を行い、対応方針（概略ルート・構造）の決定に向けて手続きを進めていきます。

今後の手続きの状況（委員会資料、議事概要）については、沖縄総合事務局のHP（<https://www.ogb.go.jp/kaiken/michi/6097>）などで随時報告しますのでご確認ください。

